

令和5年度 神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査 調査結果の概要（私立学校分）

目次

1	暴力行為の状況（私立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（私立小・中・高・特別支援学校）	・・・ 5
3	長期欠席・不登校児童生徒の状況（私立小・中学校）	・・・ 12
4	長期欠席・不登校生徒の状況（私立高等学校）	・・・ 15
5	中途退学者等の状況（私立高等学校）	・・・ 18
6	自殺の状況（私立小・中・高等学校）	・・・ 21

* 中学校には中等教育学校前期課程を含む

* 高等学校には中等教育学校後期課程、及び通信制高等学校を含む

（「長期欠席・不登校生徒の状況」には、通信制高等学校は含まない）

令和6年10月

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課

1 暴力行為の状況（私立小・中・高等学校(通信制を含む)）

(1-1) 暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	計				
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	うち2回 以上
小学校	30	11	36.7	45	29	1
中学校	61	28	45.9	191	211	17
高等学校	83	31	37.3	85	79	12
計	174	70	40.2	321	319	30

イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	30	4	13.3	13	5
中学校	61	0	0.0	0	0
高等学校	83	2	2.4	2	2
計	174	6	3.4	15	7

エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	30	0	0.0	0	0
中学校	61	0	0.0	0	0
高等学校	83	0	0.0	0	0
計	174	0	0.0	0	0

ウ 生徒間暴力

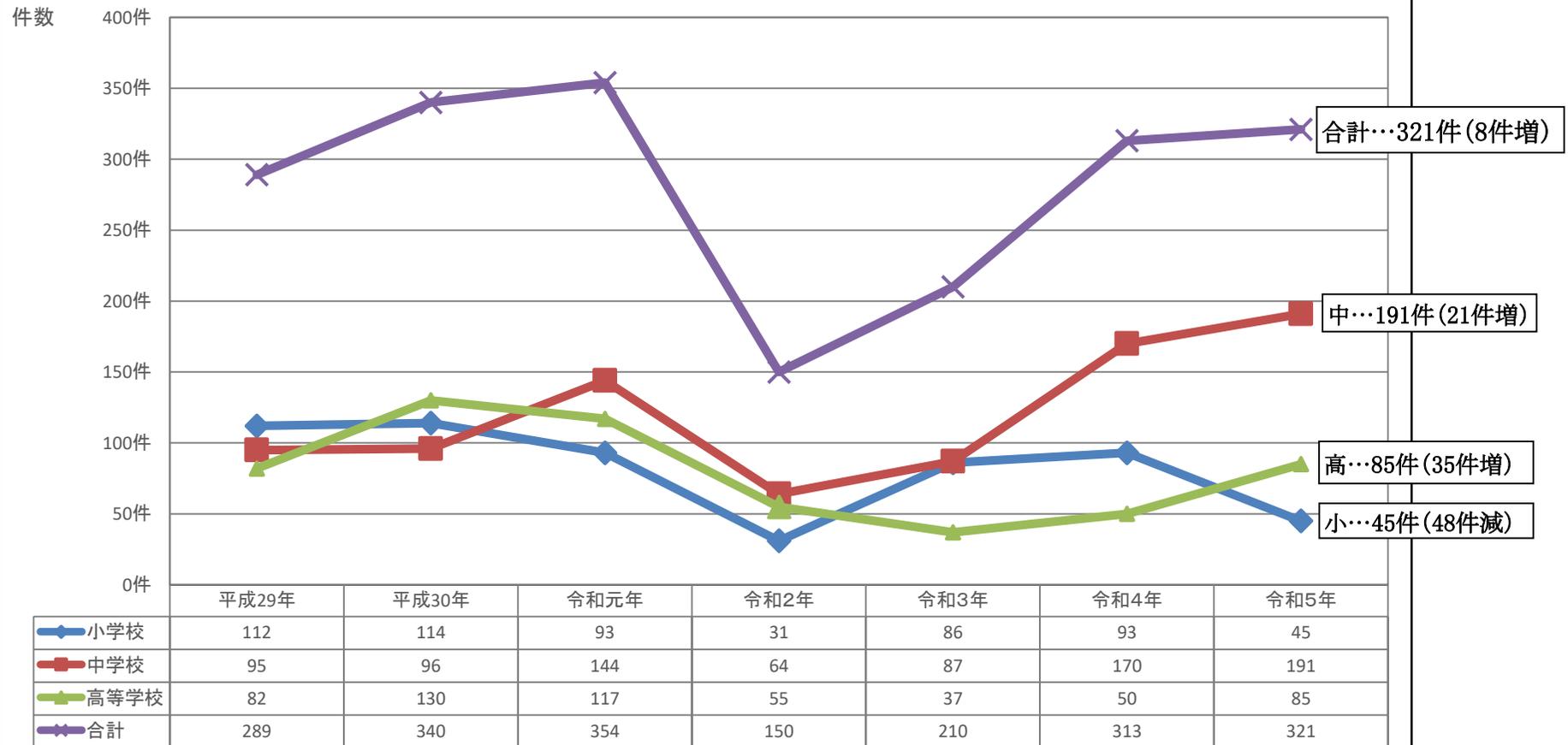
区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	30	10	33.3	31	25
中学校	61	27	44.3	139	147
高等学校	83	20	24.1	43	51
計	174	57	32.8	213	223

オ 器物損壊

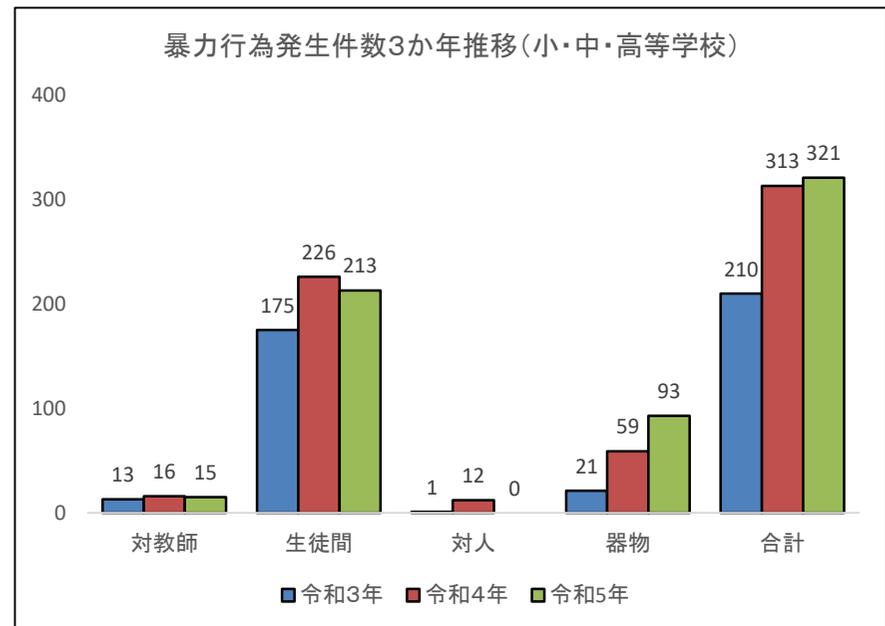
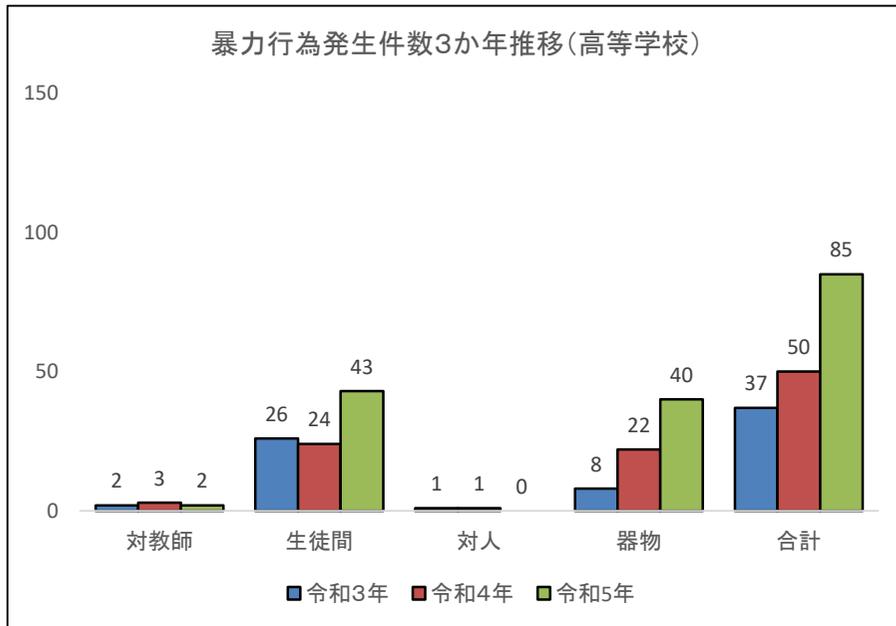
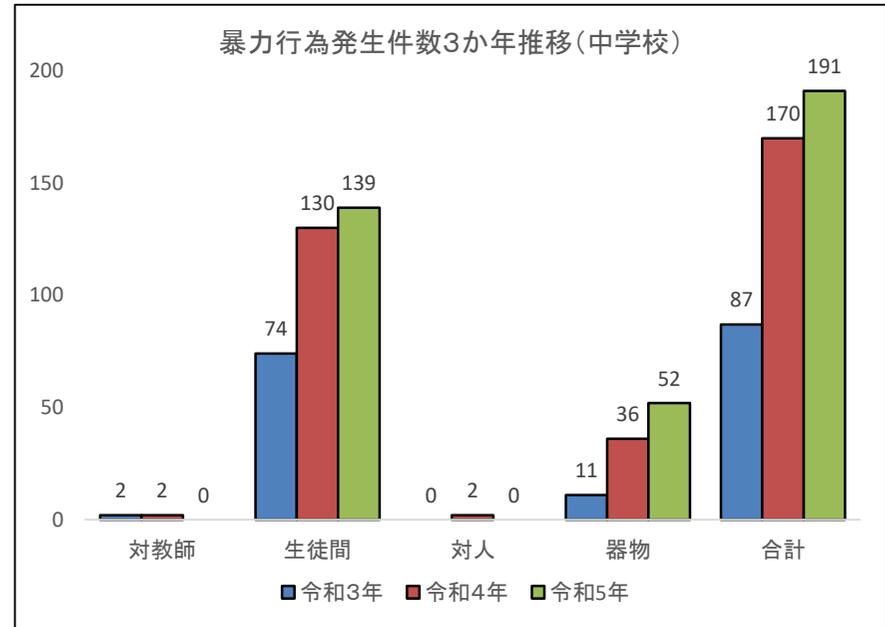
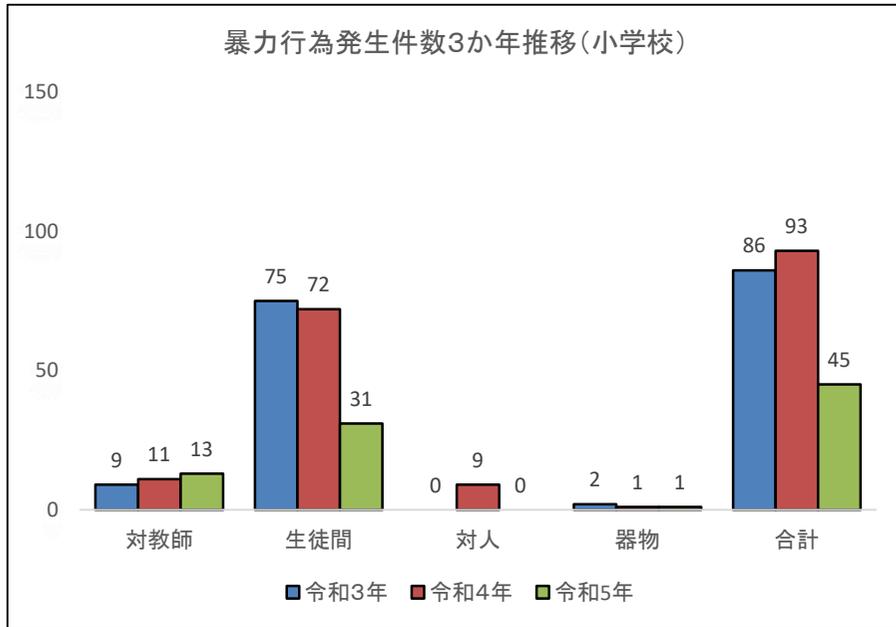
区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	30	1	3.3	1	1
中学校	61	12	19.7	52	65
高等学校	83	14	16.9	40	26
計	174	27	15.5	93	92

(参考1)

暴力行為の発生件数の推移(私立小・中・高等学校)



(参考2)
暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別加害児童生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
	3	3	0	7	10	6	29	106	73	32	211	33	34	12	79	319

(注)人数は、実人数で、「(1-1) 暴力行為の発生状況」の「ア 合計」の「加害児童・生徒数(人)」の各学校種の合計欄の人数と一致する。

(1-3) 加害児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	7	15.6	32	16.8	5	5.9	44	13.7	
校長、教頭が指導した	18	40.0	64	33.5	23	27.1	105	32.7	
別室指導した	2	4.4	17	8.9	14	16.5	33	10.3	
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
退学	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学	0	0.0	3	1.6	5	5.9	8	2.5	
懲戒処分としての退学									
その他									
停学	-	-	-	-	6	7.1	6	1.9	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	9	10.6	9	2.8	
訓告	8	17.8	14	7.3	4	4.7	26	8.1	
保護者への報告	31	68.9	137	71.7	55	64.7	223	69.5	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	19	42.2	134	70.2	34	40.0	187	58.3	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	1	2.2	0	0.0	1	1.2	2	0.6
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	3	6.7	0	0.0	0	0.0	3	0.9
	ウ 病院等の医療機関等との連携	1	2.2	6	3.1	1	1.2	8	2.5
	エ その他の専門的な関係機関との連携	1	2.2	2	1.0	1	1.2	4	1.2
	オ 地域の人材や団体等との連携	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
暴力行為の発生件数		45		191		85		321	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は発生件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

2 いじめの状況（私立小・中・高(通信制を含む)・特別支援学校)

(2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	私立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小 学 校	30	15	50.0	96	3.2	15	50.0
中 学 校	61	30	49.2	77	1.3	31	50.8
高 等 学 校	83	25	30.1	118	1.4	58	69.9
特別支援学校	2	0	0.0	0	0.0	2	100.0
計	176	70	39.8	291	1.7	106	60.2

(注)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。

なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なもの含まれる。これらについては、教育的配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(2-2)いじめの認知件数の学年別内訳

区分	小学校						中学校				高等学校				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
件数	7	13	19	13	25	19	96	40	26	11	77	42	43	33	118

区分	特別支援学校															計	合計	
	小学部						中学部				高等部							
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	291

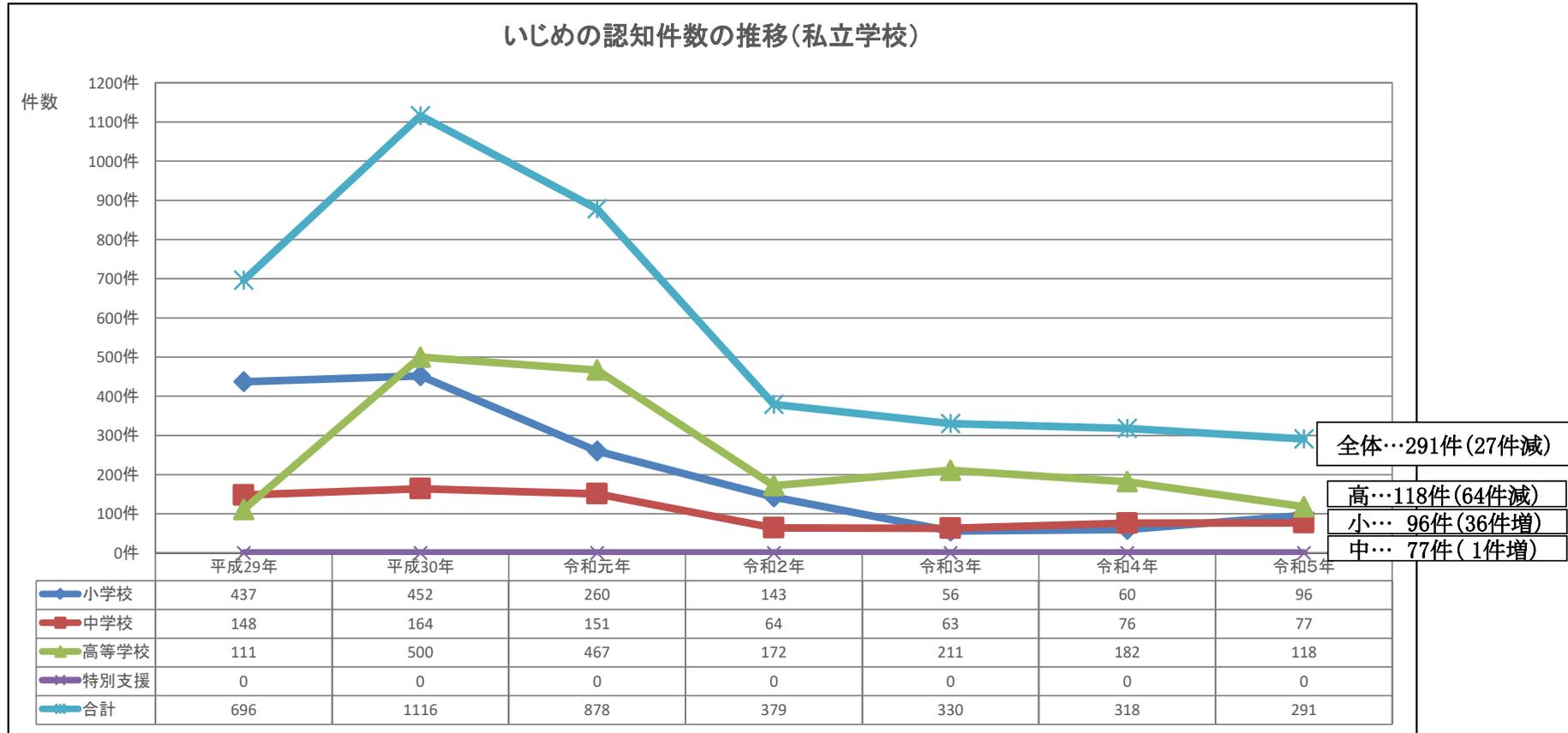
(2-3)警察に相談・通報した件数

区 分	いじめの認知件数	
	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)
小 学 校	96	1
中 学 校	77	2
高 等 学 校	118	0
特別支援学校	0	0
計	291	3

(注) 「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。

なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)
いじめの認知件数の推移



(2-4)いじめの状況(令和6年3月31日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中(3カ月以上)		解消に向けて取組中(3カ月未満)		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	79	82.3	5	5.2	11	11.5	1	1.0	96	100.0
中学校	62	80.5	9	11.7	6	7.8	0	0.0	77	100.0
高等学校	110	93.2	2	1.7	1	0.8	5	4.2	118	100.0
特別支援学校	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	251	86.3	16	5.5	18	6.2	6	2.1	291	100.0

(2-5)いじめの現在の状況(令和6年7月20日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	88	91.7	4	4.2	4	4.2	96	100.0
中学校	71	92.2	3	3.9	3	3.9	77	100.0
高等学校	111	94.1	2	1.7	5	4.2	118	100.0
特別支援学校	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	270	92.8	9	3.1	12	4.1	291	100.0

(注1)「その他」は、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から私立、私立から公立などの転学や退学等、「解消しているもの」「解消に向けて取組中」に該当しないものとする。

(注2)(2-5)いじめの現在の状況(令和6年7月20日現在の状況)は県独自調査によるもの。

(2-6)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	20	20.8	9	11.7	94	79.7	0	0.0	123	42.3
学級担任が発見	10	10.4	4	5.2	9	7.6	0	0.0	23	7.9
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	0	0.0	2	2.6	2	1.7	0	0.0	4	1.4
養護教諭が発見	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
スクールカウンセラー等の相談員が発見	0	0.0	2	2.6	0	0.0	0	0.0	2	0.7
アンケート調査など学校の取組により発見	10	10.4	1	1.3	83	70.3	0	0.0	94	32.3
学校の教職員等以外からの情報により発見	76	79.2	68	88.3	24	20.3	0	0.0	168	57.7
本人からの訴え	47	49.0	32	41.6	12	10.2	0	0.0	91	31.3
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	23	24.0	27	35.1	8	6.8	0	0.0	58	19.9
児童・生徒(本人を除く)からの情報	3	3.1	5	6.5	3	2.5	0	0.0	11	3.8
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	2	2.1	4	5.2	1	0.8	0	0.0	7	2.4
地域住民からの情報	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
その他(匿名による投書など)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	96	100.0	77	100.0	118	100.0	0	0.0	291	100.0

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-7)いじめられた児童生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	81	84.4	57	74.0	94	79.7	0	0.0	232	79.7
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	12	12.5	16	20.8	9	7.6	0	0.0	37	12.7
養護教諭に相談	0	0.0	3	3.9	2	1.7	0	0.0	5	1.7
スクールカウンセラー等の相談員に相談	11	11.5	10	13.0	6	5.1	0	0.0	27	9.3
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	3	3.1	2	2.6	1	0.8	0	0.0	6	2.1
保護者や家族等に相談	33	34.4	35	45.5	17	14.4	0	0.0	85	29.2
友人に相談	0	0.0	11	14.3	7	5.9	0	0.0	18	6.2
その他(地域の人など)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
誰にも相談していない	2	2.1	1	1.3	3	2.5	0	0.0	6	2.1
いじめの認知件数 (再掲)	96		77		118		0		291	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	67	69.8	49	63.6	91	77.1	0	0.0	207	71.1
仲間はずれ、集団による無視をされる	23	24.0	15	19.5	9	7.6	0	0.0	47	16.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	12	12.5	9	11.7	5	4.2	0	0.0	26	8.9
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	2	2.1	4	5.2	2	1.7	0	0.0	8	2.7
金品をたかられる	1	1.0	5	6.5	1	0.8	0	0.0	7	2.4
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	1	1.0	6	7.8	1	0.8	0	0.0	8	2.7
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	5	5.2	5	6.5	11	9.3	0	0.0	21	7.2
パソコンや携帯電話等で、ひぼう中傷や嫌なことをされる	0	0.0	19	24.7	11	9.3	0	0.0	30	10.3
その他	2	2.1	3	3.9	1	0.8	0	0.0	6	2.1
いじめの認知件数 (再掲)	96		77		118		0		291	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめる児童生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	5	5.2	9	11.7	4	3.4	0	0.0	18	6.2
校長、教頭が指導した	8	8.3	11	14.3	9	7.6	0	0.0	28	9.6
別室指導した	2	2.1	7	9.1	5	4.2	0	0.0	14	4.8
学級替えをした	0	0.0	3	3.9	0	0.0	0	0.0	3	1.0
退学 転学	懲戒処分としての退学		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他		0	0.0	2	2.6	1	0.8	0	0.0
停学	-	-	-	-	2	1.7	0	0.0	2	0.7
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	6	5.1	0	0.0	6	2.1
訓告	0	0.0	4	5.2	3	2.5	0	0.0	7	2.4
保護者への報告	30	31.3	54	70.1	24	20.3	0	0.0	108	37.1
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	19	19.8	49	63.6	20	16.9	0	0.0	88	30.2
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携		1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ウ 病院等の医療機関等との連携		0	0.0	2	2.6	1	0.8	0	0.0
	エ その他の専門的な関係機関との連携		1	1.0	2	2.6	1	0.8	0	0.0
	オ 地域の人材や団体等との連携		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの認知件数 (再掲)	96		77		118		0		291	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)いじめられた児童生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	10	10.4	18	23.4	6	5.1	0	0.0	34	11.7
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	5	5.2	25	32.5	6	5.1	0	0.0	36	12.4
緊急避難として欠席させた	0	0.0	1	1.3	0	0.0	0	0.0	1	0.3
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	2	2.1	0	0.0	2	1.7	0	0.0	4	1.4
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	2	1.7	0	0.0	2	0.7
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
いじめの認知件数 (再掲)	96		77		118		0		291	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。

(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-11)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じて、いじめの問題に関して教職員間で共通理解を図った	24	80.0	45	73.8	60	72.3	0	0.0	129	73.3
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	18	60.0	18	29.5	20	24.1	0	0.0	56	31.8
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	24	80.0	45	73.8	36	43.4	0	0.0	105	59.7
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の間関係や仲間作りを促進したりした	12	40.0	25	41.0	25	30.1	0	0.0	62	35.2
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	23	76.7	56	91.8	75	90.4	1	50.0	155	88.1
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	7	23.3	35	57.4	43	51.8	1	50.0	86	48.9
学校・警察連絡員の指定を行った	4	13.3	13	21.3	21	25.3	0	0.0	38	21.6
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得よう努めた	13	43.3	28	45.9	30	36.1	0	0.0	71	40.3
P T Aなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	1	3.3	2	3.3	4	4.8	0	0.0	7	4.0
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	3	10.0	6	9.8	13	15.7	0	0.0	22	12.5
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した	15	50.0	46	75.4	46	55.4	0	0.0	107	60.8
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	15	50.0	22	36.1	33	39.8	0	0.0	70	39.8
いじめ防止対策推進法第22条に基づき、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	10	33.3	24	39.3	32	38.6	0	0.0	66	37.5
学校総数	30		61		83		2		176	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-12)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		11	73.3	30	100.0	19	76.0	0	0.0	60	85.7
実施頻度	ア 年1回	3	20.0	4	13.3	4	16.0	0	0.0	11	15.7
	イ 年2～3回	8	53.3	25	83.3	15	60.0	0	0.0	48	68.6
	ウ 年4回以上	0	0.0	1	3.3	0	0.0	0	0.0	1	1.4
調査方法	ア 記名式	6	40.0	16	53.3	8	32.0	0	0.0	30	42.9
	イ 無記名式	4	26.7	11	36.7	7	28.0	0	0.0	22	31.4
	ウ 記名・無記名の選択式	1	6.7	4	13.3	4	16.0	0	0.0	9	12.9
回答方法	ア 学校で記入	11	73.3	19	63.3	12	48.0	0	0.0	42	60.0
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	15	50.0	8	32.0	0	0.0	23	32.9
個別面談の実施		10	66.7	21	70.0	15	60.0	0	0.0	46	65.7
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		9	60.0	9	30.0	5	20.0	0	0.0	23	32.9
家庭訪問		0	0.0	1	3.3	1	4.0	0	0.0	2	2.9
その他		0	0.0	0	0.0	2	8.0	0	0.0	2	2.9
いじめを認知した学校数		15		30		25		0		70	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		9	60.0	23	74.2	42	72.4	0	0.0	74	69.8
実施頻度	ア 年1回	3	20.0	8	25.8	11	19.0	0	0.0	22	20.8
	イ 年2～3回	6	40.0	14	45.2	29	50.0	0	0.0	49	46.2
	ウ 年4回以上	0	0.0	1	3.2	2	3.4	0	0.0	3	2.8
調査方法	ア 記名式	3	20.0	11	35.5	18	31.0	0	0.0	32	30.2
	イ 無記名式	5	33.3	8	25.8	17	29.3	0	0.0	30	28.3
	ウ 記名・無記名の選択式	1	6.7	5	16.1	8	13.8	0	0.0	14	13.2
回答方法	ア 学校で記入	9	60.0	16	51.6	28	48.3	0	0.0	53	50.0
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	8	25.8	17	29.3	0	0.0	25	23.6
個別面談の実施		6	40.0	26	83.9	47	81.0	1	50.0	80	75.5
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		5	33.3	10	32.3	8	13.8	0	0.0	23	21.7
家庭訪問		0	0.0	4	12.9	2	3.4	1	50.0	7	6.6
その他		0	0.0	3	9.7	2	3.4	1	50.0	6	5.7
いじめを認知していない学校数		15		31		58		2		106	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	20	66.7	53	86.9	61	73.5	0	0.0	134	76.1	
実施頻度	ア 年1回	6	20.0	12	19.7	15	18.1	0	0.0	33	18.8
	イ 年2～3回	14	46.7	39	63.9	44	53.0	0	0.0	97	55.1
	ウ 年4回以上	0	0.0	2	3.3	2	2.4	0	0.0	4	2.3
調査方法	ア 記名式	9	30.0	27	44.3	26	31.3	0	0.0	62	35.2
	イ 無記名式	9	30.0	19	31.1	24	28.9	0	0.0	52	29.5
	ウ 記名・無記名の選択式	2	6.7	9	14.8	12	14.5	0	0.0	23	13.1
回答方法	ア 学校で記入	20	66.7	35	57.4	40	48.2	0	0.0	95	54.0
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	23	37.7	25	30.1	0	0.0	48	27.3
個別面談の実施	16	53.3	47	77.0	62	74.7	1	50.0	126	71.6	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	14	46.7	19	31.1	13	15.7	0	0.0	46	26.1	
家庭訪問	0	0.0	5	8.2	3	3.6	1	50.0	9	5.1	
その他	0	0.0	3	4.9	4	4.8	1	50.0	8	4.5	
学校総数	30		61		83		2		176		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校数に対する割合。

(2-13)「いじめ防止対策推進法」第28条第1項に規定する「重大事態」について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	1	0	0	0	1
重大事態発生件数(件)	2	0	0	0	2
うち、第1号	1	0	0	0	1
うち、第2号	1	0	0	0	1

*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

「重大事態」について、重大な被害を把握する以前のいじめの対応状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
いじめとして認知していた	0	0	0	0	0
うち、いじめの解消に向けて取組中だった	0	0	0	0	0
うち、いじめは解消していると判断していた	0	0	0	0	0
いじめとして認知していなかった	2	0	0	0	2
うち、いじめに該当し得るトラブル等の情報があった	2	0	0	0	2
うち、いじめに該当し得るトラブル等の情報がなかった	0	0	0	0	0

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	1	0	1

3 長期欠席・不登校児童生徒の状況（私立小・中学校）

(3-1) 小・中学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数														
		不登校				病気		経済的理由		その他		計				
		人数(人)	割合(%)	うち、欠席 50日以上	うち、欠席 90日以上	うち、出席 10日以下	うち、出席 0日	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
小学校	9,970	59	0.59	48	20	3	0	47	0.47	0	0.00	35	0.35	141	1.41	
内訳	1年生	1,649	2	0.12	2	0	0	2	0.12	0	0.00	1	0.06	5	0.30	
	2年生	1,607	5	0.31	3	0	0	5	0.31	0	0.00	2	0.12	12	0.75	
	3年生	1,642	7	0.43	6	3	0	9	0.55	0	0.00	10	0.61	26	1.58	
	4年生	1,656	11	0.66	7	5	0	7	0.42	0	0.00	1	0.06	19	1.15	
	5年生	1,738	20	1.15	18	6	2	0	6	0.35	0	0.00	5	0.29	31	1.78
	6年生	1,678	14	0.83	12	6	1	0	18	1.07	0	0.00	16	0.95	48	2.86
中学校	26,409	882	3.34	634	414	63	15	316	1.20	1	0.00	46	0.17	1,245	4.71	
内訳	1年生	9,032	255	2.82	180	100	9	0	82	0.91	1	0.01	11	0.12	349	3.86
	2年生	8,697	313	3.60	236	151	28	3	93	1.07	0	0.00	11	0.13	417	4.79
	3年生	8,680	314	3.62	218	163	26	12	141	1.62	0	0.00	24	0.28	479	5.52

(注1)在籍者数は、令和5年5月1日現在

(注2)割合は、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)

不登校児童生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校生徒 数の増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児童・ 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童・ 生徒数の増 減率(%)
平成26年度	10,263	21	0.20	-	27,254	401	1.47	-	37,517	422	1.12	-
27年度	10,244	29	0.28	38.1	26,679	319	1.20	▲ 20.4	36,923	348	0.94	▲ 17.5
28年度	10,254	29	0.28	0.0	26,239	397	1.51	24.5	36,493	426	1.17	22.4
29年度	10,235	28	0.27	▲ 3.4	25,947	477	1.84	20.2	36,182	505	1.40	18.5
30年度	10,305	35	0.34	25.0	25,779	559	2.17	17.2	36,084	594	1.65	17.6
令和元年度	10,290	31	0.30	▲ 11.4	25,843	496	1.92	▲ 11.3	36,133	527	1.46	▲ 11.3
2年度	10,299	44	0.43	41.9	25,894	375	1.45	▲ 24.4	36,193	419	1.16	▲ 20.5
3年度	10,189	69	0.68	56.8	26,131	501	1.92	33.6	36,320	570	1.57	36.0
4年度	10,043	73	0.73	5.8	26,110	739	2.83	47.5	36,153	812	2.25	42.5
5年度	9,970	59	0.59	▲ 19.2	26,409	882	3.34	19.4	36,379	941	2.59	15.9

(3-2)不登校児童生徒の在籍学校数

区分	私立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(% (B/A×100)
小学校	30	20	66.7
中学校	61	56	91.8
計	91	76	83.5

(3-3)不登校児童生徒について把握した事実

学校種 区分	1 た。い じめ の被 害の 情 報 や 相 談 が あ っ た。	2 ぐ い じ め の 被 害 を 除 く 友 人 関 係 を め ぐ る 情 報 や 相 談 が あ っ た。	3 や 教 職 員 と の 関 係 を め ぐ る 問 題 の 情 報	4 見 学 業 の 不 振 や 頻 繁 な 宿 題 の 未 提 出 が	5 た。学 校 の き ま り 等 に 関 す る 相 談 が あ っ た。	6 転 編 入 学 、 進 級 時 の 不 適 応 に よ る 相 談	7 が。家 庭 生 活 の 変 化 に 関 す る 情 報 や 相 談	8 や。親 子 の 関 わ り 方 に 関 す る 問 題 の 情 報	9 あ。生 活 リ ズ ム の 不 調 に 関 す る 相 談 が	10 あ。そ び 、 非 行 に 関 す る 情 報 や 相 談 が	11 の。学 校 生 活 に 対 し て や る 気 が 出 な い 等 の 相 談 が あ っ た。	12 不 安 ・ 抑 う つ の 相 談 が あ っ た	13 障 害 的 支 援 の 求 め や 相 談 が あ っ た。 な ら ば 、 疑 い を 含 む に 起 因 す る 特 別 な	14 求 め 別 の 配 慮 が あ っ た。 な ら ば 、 1 3 以 外 に 関 す る 特 別 な
中学校	7	141	17	168	5	31	35	101	240	10	188	369	47	56
計	10	149	21	174	6	32	39	112	252	11	208	387	51	63

(注1)「相談」は、本人や保護者からの相談であること。

(注2)「不登校児童生徒について把握した事実」については、該当する児童生徒について当てはまる項目をすべて回答すること。

不登校児童・生徒数(再掲)	小学校	59	中学校	882	合計	941
---------------	-----	----	-----	-----	----	-----

(3-4)不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		合計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	28	47.5	285	32.3	313	33.3
指導中の児童・生徒	31	52.5	597	67.7	628	66.7

(3-5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の児童生徒数

区分	小学校						中学校						計																			
	相談・指導等を受けた人数	うち50日以上		うち90日以上		指導要録上出席扱いした人数	相談・指導等を受けた人数	うち50日以上		うち90日以上		指導要録上出席扱いした人数	相談・指導等を受けた人数(A)	うち50日以上		うち90日以上		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)	うち50日以上		うち90日以上		指導要録上出席扱いした人数(B)	うち50日以上		うち90日以上		B/A(%)	うち50日以上		うち90日以上	
		人数	人数	人数	人数			人数	人数	人数	人数			人数	人数	人数	人数		人数	人数	人数	人数		人数	人数	人数	人数		人数	人数	人数	人数
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	30	26	14	5	4	2	279	204	142	26	20	18	309	230	156	32.84	24.44	16.58	31	24	20	10.03	10.43	12.82								
学校外	①教育支援センター(適応指導教室)	4	3	2	1	0	0	28	26	23	17	12	11	32	29	25	3.40	3.08	2.66	18	12	11	56.25	41.38	44.00							
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	2	2	1	0	0	0	8	7	3	5	4	3	10	9	4	1.06	0.96	0.43	5	4	3	50.00	44.44	75.00							
	③児童相談所、福祉事務所	3	3	2	0	0	0	14	10	6	0	0	0	17	13	8	1.81	1.38	0.85	0	0	0	0.00	0.00	0.00							
	④保健所、精神保健福祉センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0.11	0.00	0.00	0	0	0	0.00	-	-							
	⑤病院、診療所	20	18	11	0	0	0	206	145	94	0	0	0	226	163	105	24.02	17.32	11.16	0	0	0	0.00	0.00	0.00							
	⑥民間団体、民間施設	6	6	4	3	3	1	14	12	9	1	1	1	20	18	13	2.13	1.91	1.38	4	4	2	20.00	22.22	15.38							
	⑦上記以外の機関等	2	2	1	1	1	1	15	14	13	4	3	3	17	16	14	1.81	1.70	1.49	5	4	4	29.41	25.00	28.57							
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	29	22	6	-	-	-	603	430	272	-	-	-	632	452	278	67.16	48.03	29.54	-	-	-	-	-	-								
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	40	34	12	-	-	-	525	376	247	-	-	-	565	410	259	60.04	43.57	27.52	-	-	-	-	-	-								
学校内	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	7	7	2	-	-	-	160	113	80	-	-	-	167	120	82	17.75	12.75	8.71	-	-	-	-	-	-							
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	39	33	11	-	-	-	461	336	225	-	-	-	500	369	236	53.13	39.21	25.08	-	-	-	-	-	-							
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	19	14	8	-	-	-	357	258	167	-	-	-	376	272	175	39.96	28.91	18.60	-	-	-	-	-	-								
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	6	5	2	-	-	-	254	178	107	-	-	-	260	183	109	27.63	19.45	11.58	-	-	-	-	-	-								
うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数	5	4	1	-	-	-	179	119	79	-	-	-	184	123	80	19.55	13.07	8.50	-	-	-	-	-	-								

(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(3-6) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした不登校の児童生徒数

小学校	中学校	計
5	26	31

(3-7) 自宅におけるICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした不登校の児童生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	6	86
うち(3-5)の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	0	4

(3-8) 不登校の状態が前年度から継続している児童生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
令和5年度不登校児童・生徒数	5	7	11	20	14	57	255	313	314	882
うち令和4年度から継続	0	4	1	7	8	20	30	144	184	358
比率(%)	0.0	57.1	9.1	35.0	57.1	35.1	11.8	46.0	58.6	40.6

4 長期欠席・不登校生徒の状況（私立高等学校(通信制を含まない)）

(4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数														
		不登校		うち、欠席				病気		経済的理由		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	うち、欠席50日以上	うち、欠席90日以上	うち、出席10日以下	うち、出席0日	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全日制	70,670	1,019	1.44	511	133	19	7	656	0.93	2	0.00	194	0.27	1,871	2.65	
内訳	1年生	23,091	285	1.23	149	40	12	3	206	0.89	0	0.00	39	0.17	530	2.30
	2年生	22,882	272	1.19	125	28	2	1	208	0.91	1	0.00	36	0.16	517	2.26
	3年生	21,411	236	1.10	93	6	1	1	203	0.95	1	0.00	75	0.35	515	2.41
	単位制	3,286	226	6.88	144	59	4	2	39	1.19	0	0.00	44	1.34	309	9.40

(注1)在籍者数は、令和5年4月1日現在

(注2)割合は、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分		1年生		2年生		3年生		単位制		計	
		不登校生徒数	割合(%)								
全日制	不登校生徒数	285	—	272	—	236	—	226	—	1,019	—
	うち 前年度から継続	44	15.4	57	21.0	69	29.2	98	43.4	268	26.3

(注)割合は、不登校生徒数に占める割合

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制	
	生徒数	割合(%)
不登校生徒数	1,019	—
うち中途退学に至った者	213	20.9
うち原級留置に至った者	20	2.0

(注)割合は、不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4)不登校生徒について把握した事実

学校種	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		たい。はじめの被害の情報や相談があった。	ぐる。はじめの被害の情報や相談があった。友人関係をめぐらせた。	や。教職員との関係がめぐる問題の情報があった。	見。学業の不振や頻繁な宿題の未提出が認められた。	た。学校のきまり等に関する相談があった。	談。転編入学、進級時の不適応による相談があった。	や。家庭生活の変化に関する問題の情報があった。	が。親子の関わり方に関する情報や相談があった。	あ。生活リズムの不調に関する相談があった。	あ。あそび、非行に関する情報や相談があった。	の。学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不。不安・抑うつ等の相談があった。	障。教育的支援の求め(含む)に起因する特別な相談があった。	求。個別の配慮(13以外)についての相談があった。
全日制	不登校生徒について把握した事実 (複数回答可)	0	175	17	131	29	71	54	95	220	12	297	238	34	86

(注1)「相談」は、本人や保護者からの相談であること。

(注2)「不登校生徒について把握した事実」については、該当する生徒について当てはまる項目をすべて回答すること。

不登校生徒数 (再掲)	1,019
-------------	-------

(4-5)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制	
	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	545	53.5
指導中の生徒	474	46.5
計	1,019	100.0

(4-6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の生徒数

区分		全日制									
		相談・指導等を受けた人数(A)	うち50日以上		不登校生徒数における(A)の割合(%)	指導要録上出席扱いした人数(B)	うち50日以上		(B)／(A)(%)	うち50日以上	
			うち90日以上	うち90日以上			うち90日以上	うち90日以上			
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)		197	127	37	19.3	8	4	1	4.1	3.1	2.7
学校外	①教育支援センター(適応指導教室)	10	9	4	1.0	5	4	1	50.0	44.4	25.0
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	0	0	0	0.0	0	0	0	-	-	-
	③児童相談所、福祉事務所	23	14	2	2.3	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	④保健所、精神福祉保健センター	2	1	0	0.2	0	0	0	0.0	0.0	-
	⑤病院、診療所	160	100	30	15.7	3	0	0	1.9	0.0	0.0
	⑥民間団体、民間施設	7	6	1	0.7	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	⑦上記以外の機関等	2	2	1	0.2	0	0	0	0.0	0.0	0.0
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)		647	312	75	63.5	-	-	-	-	-	-
不明(実数)		175	72	21	17.2	-	-	-	-	-	-
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)		446	242	48	43.8	-	-	-	-	-	-
学校内	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	136	61	13	13.3	-	-	-	-	-	-
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	363	210	43	35.6	-	-	-	-	-	-
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)		573	269	85	56.2	-	-	-	-	-	-
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		362	180	53	35.5	-	-	-	-	-	-
うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数		287	151	47	28.2	-	-	-	-	-	-

(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

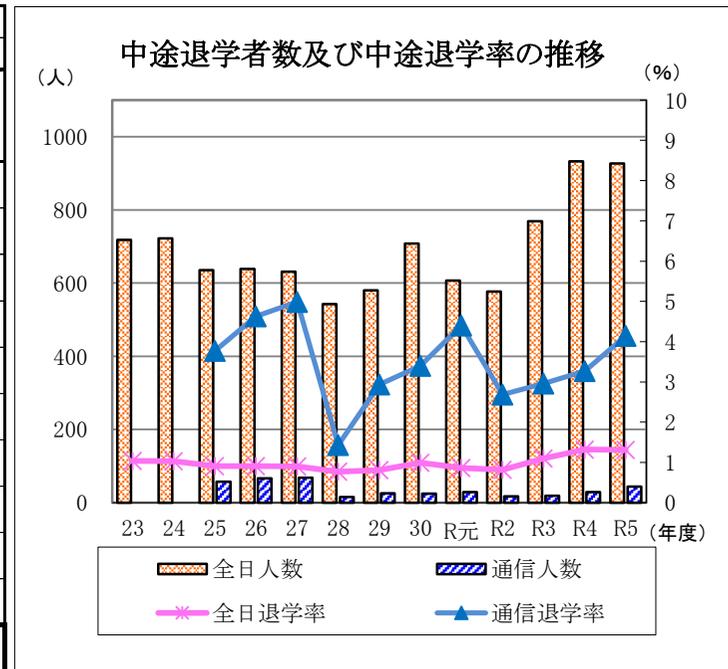
5 中途退学者等の状況（私立高等学校(通信制を含む)）

(5-1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					通信制					合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	単位制	計	
中途退学者数	404	328	117	78	927	15	14	4	11	44	971

(参考) 中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			通信制		
	人数	中途退学率	増減	人数	中途退学率	増減
平成23年度	718	1.04 %	-			
平成24年度	722	1.03 %	▲ 0.01			
平成25年度	635	0.91 %	▲ 0.12	57	3.77 %	-
平成26年度	639	0.91 %	0.00	67	4.63 %	0.86
平成27年度	631	0.90 %	▲ 0.01	68	4.99 %	0.36
平成28年度	543	0.77 %	▲ 0.13	16	1.43 %	▲ 3.56
平成29年度	580	0.81 %	0.04	26	2.94 %	1.51
平成30年度	708	0.99 %	0.18	25	3.40 %	0.46
令和元年度	607	0.86 %	▲ 0.13	29	4.40 %	1.00
令和2年度	577	0.82 %	▲ 0.04	17	2.69 %	▲ 1.71
令和3年度	769	1.10 %	0.28	19	2.96 %	0.27
令和4年度	933	1.32 %	0.22	29	3.27 %	0.31
令和5年度	927	1.31 %	▲ 0.01	44	4.14 %	0.87



(注) 中途退学率は、各年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合

(5-2)事由別中途退学者数

事由	全日制		通信制		合計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	48	5.2	2	4.5	50	5.1
学校生活・学業不適応	223	24.1	10	22.7	233	24.0
進路変更	546	58.9	21	47.7	567	58.4
別の高校への入学を希望	446	48.1	17	38.6	463	47.7
専修・各種学校への入学を希望	9	1.0	0	0.0	9	0.9
就職を希望	5	0.5	1	2.3	6	0.6
高卒程度認定試験を受験希望	22	2.4	3	6.8	25	2.6
その他	64	6.9	0	0.0	64	6.6
病気が死亡	41	4.4	1	2.3	42	4.3
経済的理由	1	0.1	1	2.3	2	0.2
家庭の事情	28	3.0	2	4.5	30	3.1
問題行動等	32	3.5	0	0.0	32	3.3
その他の理由	8	0.9	7	15.9	15	1.5
中途退学者数	927	100.0	44	100.0	971	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(5-3)経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		通信制		合計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	1	100.0	1	100.0	2	100.0
④上記のいずれかにも該当しない者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	1	100.0	1	100.0	2	100.0

(注)事由は、該当する項目を複数選択可

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1年生	397	1.74	7	2.08	-	-	15	5.79	419	1.79
2年生	318	1.41	10	3.00	-	-	14	5.17	342	1.48
3年生	112	0.53	5	1.62	-	-	4	1.70	121	0.56
単位制	52	1.99	-	-	26	3.90	11	3.70	89	2.48
合計	879	1.27	22	2.25	26	3.90	44	4.14	971	1.35

(注)割合は、令和5年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1年生	7	0.031	0	0.000	-	-	0	0.000	7	0.030
2年生	4	0.018	0	0.000	-	-	0	0.000	4	0.017
3年生	11	0.052	0	0.000	-	-	0	0.000	11	0.051
単位制	0	0.000	-	-	0	0.000	0	0.000	0	0.000
合計	22	0.032	0	0.000	0	0.000	0	0.000	22	0.031

(注)割合は、令和5年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める懲戒による退学者の割合

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

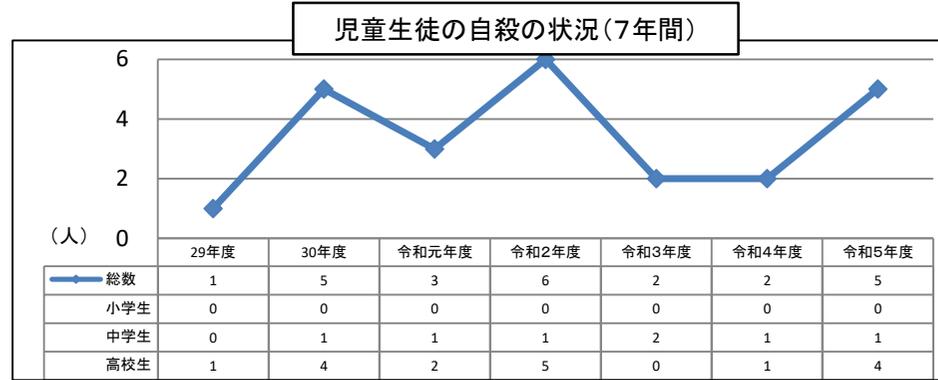
区分	全日制						通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1年生	39	0.17	0	0.00	-	-	3	1.16	42	0.18
2年生	32	0.14	0	0.00	-	-	5	1.85	37	0.16
3年生	15	0.07	1	0.32	-	-	2	0.85	18	0.08
単位制	2	0.08	-	-	0	0.00	2	0.67	4	0.11
合計	88	0.13	1	0.10	0	0.00	12	1.13	101	0.14

(注1)原級留置者とは、令和6年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

6 自殺の状況（私立小・中・高等学校(通信制を含む)）

(6-1) 児童生徒の自殺の状況

区分	小学生	中学生	高校生	計
人数	0	1	4	5



(6-2) 自殺した児童生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学生				高校生				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4	4
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	4	5

(6-3) 自殺した児童生徒が置かれていた状況

区分	計	
	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	0.0
父母等の叱責	0	0.0
学業等不振	0	0.0
進路問題	0	0.0
教職員との関係での悩み	0	0.0
教職員による体罰、不適切指導	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0
いじめの問題	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0
えん世	0	0.0
恋愛関係での悩み	0	0.0
精神障害	0	0.0
不明	4	80.0
その他	1	20.0

(注1)複数回答可

(注2)構成比は、各区分における自殺した児童生徒数に対する割合。